



湯河原小学校

オーストラリア・ポートステイブンス市の留学生と交流しました

7月8日(休)に湯河原町にホームステイしている交換留学生10人の中の4人が湯河原小学校に来ました。まずは3年生の国語の授業を参観しました。3年生は、ドキドキ、ワクワクしながらも温かい気持ちで留学生を迎え、「三年とうげ」の劇を披露しました。物語の解説を子どもたちが英語で行ったので、留学生は劇の内容がとてもよく分かったと感想を話していました。

続いて、毛筆の学習です。留学生も実際に筆を持って、「十」の学習に取り組みました。筆のいれ方、筆の運び方、筆の止め方の説



明を聞いた後に、習字道具の使い方を教わりながら慣れない手つきでの毛筆体験でした。最初から最後まで斜め45度で筆を運ぶのがとても難しいと言いながらも、お手本を見ながら真剣に取り組んでいる姿がとても印象的でした。

給食も子どもたちと一緒にした。メニューは、米粉パン、照り焼きチキン、中華風サラダと牛乳です。照り焼きチキンと中華風サラダが大好評で、「ヘルシーでグッドな味」という感想をいただきました。留学生が通っている中学校には、給食がないというので、給食当番が配膳する姿や健康を考えた味付けに大感激していました。

わずか3時間のふれあいでしたが、湯河原小学校の児童は、心を尽くしておもてなしをしました。今後も、機会があれば、外国の方々と積極的にふれあって、異国の文化や外国語に慣れて欲しいと思います。

ゆがわらっこ



吉浜小学校

安全に楽しく水遊び・水泳を【ちやくいゑい着衣泳】



例年、吉浜小学校では夏休み直前に「着衣泳」を実施しています。

今年も7月12日(月)からの1週間を着衣泳の期間と位置づけ、全学年で実施しました。夏休みにはプールや海へ出かけることが多くなるので、安全に水に親しむことができるよう、この時期の実施が効果的だと考えます。着衣泳は「着衣

のまま水の中に入る体験を通して、水の事故に遭遇した場合に助かる方法を知ることや正しい判断・行動ができること」をねらいとしています。

水難事故に遭った場合と救助する場合を想定して次のような指導を行いました。

＜水難事故に遭った場合＞

- ・衣服を脱がない。慌てない。
- ・浮くものにつかまる。
- ・無理して泳がない。

＜救助する場合＞

- ・無理に救助しない。
- ・大人に助けを求める。
- ・浮きになるものを投げる。

子どもたちは、衣服を身に着けたままで水に入ると重たくて動きにくくなることを体感し、緊急の際に慌てずに体力の消耗を防ぐことなど、自分の命は自分で守ることを学びました。

【児童の感想】

- ・着衣泳をやった時、体が重たくて全然動けなかった。もし、実際になったらパニックになるかもしれません。でも、パニックにならないように、学校で習ったことをやりたいです。
- ・夏休みは、もしおぼれそうになったら、冷静になって授業で習ったことをやっていきたいと思います。